

# 伊丹っ子たち

昨年11月、東りいたみホールで凱旋ライブ「My Home Town」を行った、本市出身のアーティスト2組です。

## 世界とつながる

## 音楽は私の第3の言語

「ライブをするようになったのは小学生の頃」と驚きのエピソードが飛び出したシンガーソングライター・ギタリストのReiさん。

その歌声は、時に優しく時にパワフル。そして弾き語りであるギターテクニクは観客を圧倒します。



伊丹生まれ、ニューヨークで生活していた4歳のころ、テレビでギターを弾く女性を見て「I Want Hat」とおねだりして買ってもらった楽器と「一生一緒にいる」という漠然とした想いか

## 家族のような安定感 幼馴染と地元凱旋ライブ

4人組ロックバンド「Five New Old」のボーカル・ギター担当SHIROSHI(以下ヒロシ)さんとギター・キーボード担当SWATARU(以下ワタル)さんは、鈴原小の幼馴染です。中学は別々の学校へ進学しますが、市立伊丹高で再会したことをきっかけに一緒に音楽を始め、同校の文化祭でライブを披露するなどしました。

大学生の時に現在のバンドを結成してから、今年で13年。帰国子女と間違われるほど流ちょうなヒロシさんの英語と心地よいメロディーを武器に、今では海外のライブや大型音楽フェスにも出演し注目を集めます。

「今思えば、音楽を仕事にしたいと思いはじめたのは、小学生の頃の音楽の先生の影響だと思っています。それまで見たことがなかったギターなどを音楽室に持ち込んで自由に触らせてくれたことが、今の道を意識するきっかけでした」とヒロシさんは語ります。

大学生の時には、アルバイト終わりの午後9時から翌午前6時まで、ヒロシさんの家に集まって曲作りをしていたという2人。家族からの差し入れを食べながら、「どうやったら良い曲を作れるんだろう?どうすれば良いメロディーが生まれるんだろう?」と夜通し試行錯誤する日々も、好きなことをやっているから辛さは感じなかったとしみじみと振り返ります。

現在東京を中心に活動する2人にとって、伊丹での思い出は子どもの頃の夏祭りです。「夜9時まで友達と屋外で遊ぶことができる鈴原まつりは、小学生の僕たちにとって、まるでフィジックフェスティバルのようでした」と人懐っこい笑顔でヒロシさんは話します。ワタルさん



HIROSHIさん(写真左)とWATARUさん

も領きながら「同じ日に開催している他の夏祭りにも行って、夏祭りのハシゴをしていました」と思い返します。

ら、次第に音楽を職業として意識し始めます。「日本語をきちんと話せる前にアメリカに渡ったので、日本語も英語も中途半端だった時期が長くあって、言語と自分の感情とのパイプが断線しているような感覚がありました。そんな時に音楽と出会い、自分と世界をつなぐ第3の言語になったのだと思います」と語ります。

でもうっかり屋で、ライブの日に空っぽのギターケースを持って空港に行ったこともあるという一面も。飛行機を見るのが好きで、小さいころはよく空港に行っていたことを覚えているというReiさん。「伊丹は都会的なところ、のどかなところが共存しているまちだと思うので、これからも変わらず帰って来られる場所であってほしい」と話します。

## 世界酒蔵ランキング2022 小西酒造(株)が最高評価

昨年12月6日に開催された世界酒蔵ランキング2022で、小西酒造(株)が最高評価となる5つ星を3年連続で受賞し、全体順位は第3位を獲得しました。同ランキングは、国内外の有力な日本酒コンテスト受賞実績をポイント化し酒蔵ごとに集計、上位50位の格付けを行うもので、対象は669蔵、2612商品でした。空港・にぎわい課 ☎744-2088



## CATV・FMラジオ 市長新春対談番組

市長新春対談番組をケーブルテレビとFMラジオで放送します。番組では藤原市長が昨年を振り返りながら、コロナ禍の市の取り組みなどについて語ります。放送日時などは次の通り。CATV局ベイ・コミュニティ「エフエムいたみ(79.4MHz)」新春スペシャル伊丹からおめでとう「新春市長に聞く」。1月13日の午前11時に放送。聞き手は馬屋原庄子さん。☎市広報・シティプロモーション課 ☎784-8010。



昨年10月21日、市は株式会社フク(松下誠吾代表取締役=写真左)と株式会社ほっかほっか亭総本部(岩寄智彦代表取締役社長=同右)の2社と災害時応援協定を締結しました。災害時に必要となる「人・物・食料」の輸送・供給業務においてさらなる体制強化につなげます。

## 写真 ニュース



昨年11月29日、市は学校法人鉄鋼学園産業技術短期大(小島彰学長=写真右)と災害時の避難所開設に関する応援協定を締結しました。市外の民間施設を活用し、本市西南地区の高齢者などが迅速に避難できる体制の強化につなげます。



昨年のケーブルテレビ放送

## いたみ産 おいしい干しいも

## たみまるほしいも



平成26年東野地域の農家有志が結成した「伊丹サツマイモ研究会」は、市内福祉施設と連携し、干しいもの開発に取り組み「たみまるほしいも」を無添加・無着色で作っています。【価格】1袋(150g) 540円(税込み) 【販売場所】スマイル阪神(北本町3。☎783-6977)

## 伊丹の干しいも



東野地域にある創業50年以上の青果店「榎よしの産業」は、東野産の紅はるかを使った平干しの干しいもを手作りしています。【価格】1袋(180g) 700円(税込み) 【販売場所】榎よしの産業(東野3。☎782-0646。インターネット販売もあり)

\* 市農業政策課 ☎784-8050